



ほしぐみ通信



子どもたちのきらきらした笑顔とともに、新年が始まりました。年長組での生活も残り3か月となり、子どもたちも新しい生活に期待を持っている子、不安を感じている子と様々な姿が見られます。12月ははじめにお楽しみ会を終えた子どもたちの姿は、充実感にあふれ、次々と新しい遊びに挑戦する姿が増えました。少しずつ自分に自信をつけ、粘り強さや少し勇気がある遊びにも意欲的に取り組むようになったなど感じています。残り3か月も、引き続き一人一人の思いに丁寧に寄り添い、一人一人が自信をもって過ごせるように関わっていききたいと思います。



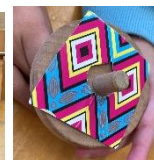
～コマ回しを楽しんでいます～



1月に入り、コマ回しへの挑戦が始まりました！初めは、紐を巻くことに苦戦する子どもたち。「ペロペロキャンディーみたいになるように、そーっと巻いていくよ！」と知らせていますが、ぐるぐると巻いていく力加減が難しくコマの芯のところに団子状になってしまったり、「やっと巻けた！」と思ったら回す前に緩んでしまったりとなかなか上手いきません。でも、諦めずに繰り返し挑戦する中で、紐が巻けるようになり、その姿を見てさらにやる気を出す子や、友だちに教える姿も増えてきました。

コマは、コツを掴むまでに時間がかかりますが、失敗・成功の繰り返しで「もう1回やってみよう！」という挑戦する気持ちを引き立て、そこから面白さを感じているのではないかなと思います。なかなか回せずに諦めようとする子もありますが、そんな時には保育者が手を添えて一緒に回し、「コマが回った」という成功体験を味わうことで次の挑戦に繋がれるようにしています。初めてコマが回せたときはどの子も嬉しく、「先生見て！回った！」と大きな声で報告してくれ、それを見ていた友達も含めみんな喜び合っています。

回せるようになった子が少しずつ増え、今はコマに空き箱を切ったものを乗せ、回った時の模様の変化を楽しんでいる子もいます。これから、新しい技を覚えたり、色んなコマの魅力に気づいたりし、遊びがどんな風に広がっていくのかなと私たち保育者もわくわくしています。コマ回しを通して、友達と刺激し合いながら、挑戦する気持ちを大切に、諦めない気持ちや“できた”という成功体験を沢山経験してほしいなと思います。



ドッチボール！



片手でボールを投げる子が増えました！



午後の休憩タイムの後や遊戯室へ出たときにドッチボールをしています。始めたころは、“自分が投げたい”という気持ちが強くボールの取り合いが続いていましたが、回を重ねるごとに一緒にやっている友だちと“チーム”であるということを意識し始めてきたように思います。勝敗にもこだわらなくなり、負けたりボールに当たったりすると悔しさから涙する場面もありますが、その気持ちに寄り添い共感する姿に成長を感じています。

また、作戦会議の中では“どうやったら当てられるか”“どうやったら勝てるのか”がよく出てきます。得意な子がリーダーシップをとりながら、調整や交渉を繰り返し子どもたち同士で話し合いが進むようになってきました。意見がぶつかったり思い通りにならなかったりすることもあります。そんな時には保育者が介入し選択肢を提示しながら子どもたちが自分たちで遊びを進めていく面白さを感じられるようにしています。



ボールを取ったらすぐに投げると、相手に当てられるよ！



おねがい

毛糸で編み物（マフラー、ポシェット作り）を始めます。強制ではありませんので、お子さんが興味を持ちましたら、好きな色の毛糸2玉をナイロン袋に入れて持たせて下さい。ナイロン袋と毛糸の帯に名前の記入をお願いします。毛糸の太さは「極太」がざくざく編めて扱いやすいです。写真の毛糸より細いものは扱いにくいので。メーカーの指定はありませんが、参考までにご覧になってください。

ポシェットのボタンは、お家の方で付けてあげてください。よろしくお願いします。

